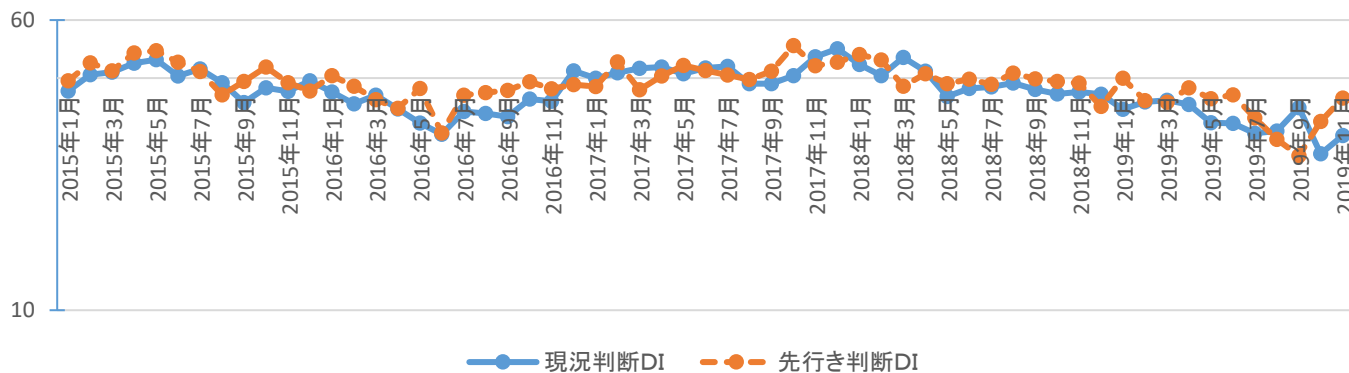


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年11月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《お客様の様子》昔からの客が高齢化でデイサービス等に行くため来客数が減っていたが、最近、今まで来ていない客が増え、意外と忙しくなってきた。【美容室（経営者）】
		不変	《単価の動き》今のところ消費税増税による影響は出てきていない。各施策などの効果かもしれない。【その他飲食【仕出し】（経営者）】
		やや悪	《販売量の動き》消費税増税も多少影響があるとみられるが、改元によるお祝いムードで上半期には旅行につながる特需があったため、相対的に販売量が下がっている。【旅行代理店（営業担当）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》ブラックフライデーの効果で折込チラシが多かった。【新聞販売店【広告】（店主）】
		不変	《取引先の様子》年末にかけて、いろいろな分野で忙しくなっており、受注等も多くなっている現状だが、例年とさほど変わらない程度の忙しさ、景気の良さのため、どちらともいえない。【金融業（従業員）】
		やや悪	《取引先の様子》自社で使用している消耗品等の量が急に増えてきた。話を聞くと、売上が減っているため、受注掘り起こしのためにふだん余り取引のないところも回っているとのことである。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》3か月前に比べ派遣求人数が増えている。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	《採用者数の動き》来年を見据えた景況感の不確実性を加味して、企業側が採用に慎重な姿勢に転じている。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		やや悪	《採用者数の動き》求人数、求職数及び採用数共に前年同月比で10%程度の減少となっている。【人材派遣会社（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	年末に向け、キャッシュレス促進のポイント還元等の効果により、若干ではあるが回復傾向になるのではないかと見込む。【コンビニ（商品企画担当）】
		不変	2～3か月先は、冬季で寒さの一番厳しい時期となる。足元では前年と比べ予約数は今一つだが、今年は暖冬傾向で雪も少ないとの予報もあるので、大きく変化のないまま推移するとみている。【ゴルフ場（支配人）】
		やや悪	消費税の増税を徐々に実感として感じてくると、一気に冷え込む可能性がある。【その他飲食【仕出し】（経営者）】
	企業 動向 関連	やや良	為替が円安傾向にあること及び株価がやや上昇してきていることから、個人投資家の表情は明るい。また、引き続きキャッシュレスでの消費は相応に進んでいることから、景気はやや良くなると見込まれる。【金融業（企画担当）】
		不変	消費者の買い控えは随所に見受けられ、国内輸送物量の減少は否めない。暖冬の影響も今より顕著になるのではないかと。景気が上向き輸送物量が増える見通しは立たない。【輸送業（役員）】
		やや悪	中国の出資先で原材料の鉄材の値段が低下している。やはり、景気が悪くなっており、この流れが続いていく。【輸送用機械器具製造業（総務経理担当）】
	雇用 関連	やや良	全体的な有効求人数は減少しているが、4人未満、100～500人未満、1000人以上の事業所からの求人は、僅かながら増加している。【職業安定所（職員）】
		不変	学内で行う就職説明会において、特に県外からの参加希望が増加しており、収容人数の問題もあって断っている状況である。【学校【専門学校】（就職担当）】
やや悪		求人数の減少傾向が続くなか、企業の様子見が続いている。【職業安定所（次長）】	